

宮崎県立看護大学に入学された皆さん、入学、誠におめでとうございます。
学部、大学院、別科助産専攻と、それぞれに大きな目標・目的を抱き本学の門を潜られた皆さんを心より歓迎いたします。

また、本日、公務ご多用の中、本入学式にご臨席賜りました河野知事、蓬原県議会議長をはじめ、多くのご来賓の皆様にご挨拶、感謝申し上げます。

本学が、開学から20年を迎え、より主体的・自立的な大学運営を図るため、公立大学法人へ移行してから早や3年目となります。

この間、法人化に伴い策定した中期計画に基づき、知の拠点・看護教育・研究の拠点として、さらに魅力ある大学となるため、職員の弛まぬ研鑽と、それに裏付けされた質の高い実践教育など、様々な取り組みを進めているところです。また、その基盤となる教育・研究の環境整備についても、しっかりと進めておりますので、入学された皆さんは、それぞれの所期の目的を達成すべく、これから存分に学問・研究に打ち込んでいただきたいと思っております。皆さんが、地域に貢献する看護職者として活躍する日を心から待ち望んでいます。

さて、来月から新たな元号「令和」に変わります。時代の節目であります。既に、急速な人口減少、少子高齢化など大きな環境の変動の中にある現在ですが、時代の節目には、様々な制度や仕組みの改変はもとより、予想もしなかったような変化に直面することも考えられます。

そのような時こそ、確固たる信念・理念を持って進むことが大切であると思っております。皆さんに対する期待は、大変大きなものがありますが、気持ちに余裕を持って、しなやかに総てを力に変えて進んでいっていただきたいと思っております。

ことごとく 風にさそわれ 咲く花の かおるがごとく 夢ひらく丘

常に基本を忘れずに、これから訪れる様々な出会いを大切に、しっかりと学業・実習・研究に励まれることを願い皆さんを迎える言葉といたします。

平成31年4月3日

公立大学法人宮崎県立看護大学
理事長 稲用 博美